

学カづくり委員会プレゼン

成長・貢献・感謝

6日(木)、全体朝会で学カづくり委員会が5月の生活目標「自分で学習できる態度を身につけよう」の取り組み・評価のプレゼンを行いました。

中間テストのカウントダウンカレンダーや無答ゼロボスター掲示の他に、学年ごとの家庭学習状況を委員のメンバーで生活ノート「輝星記」をもとに点検した評価が出来ていると感心しました。これは「活動を見える化」した素晴らしいプレゼンです。



羽地中学校
学校だより 42号
R1. 6. 7

テスト期間中の学習時間 (学年別)

(学カづくり委員会調べ)

5月第3週 (5/13~5/19)

5月第4週 (5/20~5/26)

(合計14日間)

1学年 「輝星記」の記入率81%	1人あたり 11.25時間
2学年 「輝星記」の記入率59%	1人あたり 11.9時間
3学年 「輝星記」の記入率69%	1人あたり 17時間

「1日あたり」では、およそ

1学年0.8時間、2学年0.9時間、3学年1.2時間

の勉強時間でした

テスト期間中の学習時間 (学年別)

(学カづくり委員会調べ)

5月第3週 (5/13~5/19)

5月第4週 (5/20~5/26)

(合計14日間)

1学年	1番多い人で34時間(1日平均2.4時間)
2学年	1番多い人で40時間(1日平均2.9時間)
3学年	1番多い人で45時間(1日平均3.2時間)

最後に...

これからも、家庭学習をできる範囲で継続していきましょう!



→引続き、生活記録ノート「輝星記」も活用しましょう!

これで学カづくり委員会の発表を終わります!

一方で、自分で学習できる態度を身につけた生徒もあり、一日平均2.4、2.9の時間が確保されている事が分かりました。時間が長ければ全て良いというわけではないが、普段から学習する態度や習慣が身につけていると言えます。

また、実践例として、家庭学習ノートの内容を紹介したシートもありました。時間が限られている中、自分なりに工夫しながら、日々、勉強している

ことが分かります。最後に、これからも家庭学習をできる範囲で継続していきましょう、とまとめていきました。

これから毎月、ひとつの専門委員会が、その月の生活目標の取り組みの提案と評価を担当し、プレゼンを行っていきま

す。今回の学カづくり委員会の取り組み提案と評価の発表は、その模範となるようなプレゼンだったと思います。このような専門委員会の活動が学校全体の活動につながるよう期待します。今年の専門委員会活動は、見える化です。

学カづくり委員会の皆さん、お疲れ様でした。

データによるとテスト前後2週間の家庭学習の平均時間は、1年生で0.8時間、2年生で0.6時間、3年生で1.2時間です。

家庭学習ノート (実践例)

1年生のノートの一部を紹介します!

